

授業科目	中国語入門				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	篠原 征子										
授業概要	中国は国土が広く、56の民族で構成されているため、南北では、文化はもちろん言葉も相互に外国語に等しい。従って、標準的な正しい発音を身に付けることは特に重要なことである。この授業は、初めて中国語を習う人を対象に、先ず正確に現代標準中国語の発音を習得する。それから、基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。また、中国語の学習を通して、中国の文化や風習などを知り、より広い世界観を得られるようになることを期待する。										
授業形態	この授業は講義形式と演習形式で行う。			授業方法	アクティブ・ラーニングにより、グループ発表や振り返りを行う。						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	①発音記号（ピンイン）を学び、正しく表記し発音することができる。 ②基本的な文法を理解し、それを活用して簡単な文章を書くことができる。 ③基礎の文型を応用して、日本語訳をすることができる。 ④授業で学んだ表現を話したり聞き取ったりすることができる。										
理想的レベル	①最終的には平易な文章を読むことができる。 ②自己紹介から家族や友人について説明することができる。 ③授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を身に付けることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）			備考							
試験	50%										
小テスト	20%										
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%										
レポート外の提出物											
その他	10%										
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	EN10504J T010504J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
予習：音声教材を使って、毎課の会話文の発音を予習すること。										1	
復習：習った単語や例文の内容を反復練習すること。											
授業計画											
第1回	テーマ：オリエンテーション 授業の概要や目的について説明し、その履修方法、達成の目安、評価の内容を理解する。 標準中国語の特徴を解説し、簡単な発音練習をする。										
第2回	テーマ：発音編学習（1）										

	学習内容：中国語の構造 ①声調 ②単母音 ③子音
第3回	テーマ：発音編学習（2） 学習内容：①複母音 ②鼻母音
第4回	テーマ：発音編学習（3） 学習内容：①よく使う表現 ②教室用語 ③数字0～100の言い方
第5回	テーマ：発音編学習（4） 学習内容：①“不”の声調変化 ②“一”の声調変化 ③r化音 ④隔音符号 発音編の小テスト
第6回	テーマ：第1課 学習内容：①あいさつする ②自分の身分や出身地などの言い方
第7回	テーマ：第1課の復習 学習内容：①第1課で学んだ文法について正しい運用ができているか、確認する。 ②練習問題を解いて、注意点の解説を行う。 第1課の小テスト
第8回	テーマ：第2課 学習内容：①名前の言い方 ②自己紹介文
第9回	テーマ：第2課の復習 学習内容：①第2課で学んだ内容について正しい運用ができているか、確認する。 ②練習問題を解いて、注意点の解説を行う。 第2課の小テスト
第10回	テーマ：第3課 学習内容：レストランで食事する
第11回	テーマ：第3課の復習 学習内容：①第3課で学んだ内容について正しい運用ができているか、確認する。 ②練習問題を解いて、注意点の解説を行う。 第3課の小テスト
第12回	テーマ：第4課 学習内容：感想を尋ねる
第13回	テーマ：第4課の復習 学習内容：①第4課で学んだ内容について正しい運用ができているか、確認する。 ②練習問題を解いて、注意点の解説を行う。 第4課の小テスト
第14回	テーマ：第5課 学習内容：年月日・曜日・時刻の言い方
第15回	テーマ：第5課の復習と前期のまとめ 学習内容：①第5課で学んだ内容について正しい運用ができているか、確認する。 ②練習問題を解いて、注意点の解説を行う。③前期のまとめおよび期末試験についての説明。
テキスト	『晴れ晴れ中国語』（綾部武彦・小路口ゆみ・劉心苗著、朝日出版社、2024年出版）

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	①中国語の語源図鑑（西香織 著 かんき出版） ②東方中国語辞典（相原茂、荒川清秀、大川完三郎 主編 東方書店） ③SNS で学ぶ推し活はかどる中国語（はちこ 著 朝日出版社）
課題に対するフィードバックの方法	①毎週の復習発表や小テストの内容については、授業の中で指示をする。 ②提出した課題は添削指導を行う。 ③共用の授業資料は classroom に掲示する。
学生へのメッセージ・コメント	①この授業は実際に受講する皆さんに発音などの発表があるので、必ず講義の復習を行ってください。 ②積極的に中国語検定試験や HSK 検定に参加してください。 ③学習マナー（遅刻、私語、他人に迷惑な行為など）は徹底すること。 ④自主的に単語や簡体字の練習帳を作成してください。